
短編シリーズ＊旅路

新にゅー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短編シリーズ★旅路

【Nコード】

N5202B

【作者名】

新にゅー

【あらすじ】

これはもう決まっていることだから…。でも僕はそれを受け入れない。僕は彼であり、彼は僕だから…この路を辿るしかないんだ…。

（前書き）

短編シリーズの第2弾です！今回は暗めでございます…。よろしく
お願いします。

僕はこの道を辿って、親の跡を継ぐという道しかない。
もう決まってることだから。

僕が生まれたあの日から、こうなることは決まっていたから。
僕はそのことに気づいてしまったから。

もう耐えられないんだ。僕は、この決まった運命に。この、一族の血に。

もう縛られたくない。僕は、自由になりたい。
一人になりたいんだ。

僕は……、僕は……。
孤独を求めてるんだ。

つい2年前、ある資産家の一家で反乱が起きた。彼は家の資産をすべて持ち去り、大勢の友達、執事と共に闇に消えた。

みんなが彼を信じていた。頼っていた。

だから、みんなみんな、彼に付いていった。

一族の主人を捨ててでも。

そして、この事件……その主犯が僕なのだ。

僕が彼であり、彼が僕なのだ。

過去に、もみ消された事件で似たようなことがあった。その彼も反乱を起こし、資産を持ち去った。

「僕と一緒にだ」

僕は彼の旅路を辿るしかないんだ
知ってる。知ってるけど、僕は……

辿るしかないんだ。それが、僕の罪滅しになるのなら、僕は何かあっても、どんな不幸が僕に降りかかろうとも、その路を歩き続ける。

僕はただ、妹と…妹のアイと一緒にいたかっただけなのに…あの男は僕と妹を引き離し、母を捨て、愛人と生きることを選んだ…。僕は一族をつなぐためだけの存在だって。

あの男…父と初めて会ったときから、あの顔を初めて見たときから、薄々感じてた。

でももう手遅れ。

もう

あの平和な頃には

戻れない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5202b/>

短編シリーズ*旅路

2010年11月13日03時18分発行